



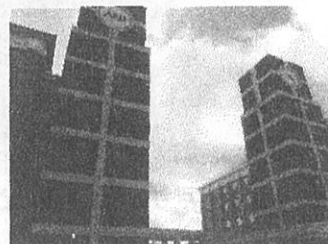
6年生APU訪問 一声かけるまでが・・・ドキドキ

11月28日(木)、6年生がAPUに訪問しました。天気は良かったものの、若干肌寒い日でした。この日の目的は、APUで、実際の留学生に英語で話しかけて、コミュニケーションを行うということになります。

最初に、APUの一つの教室をお借りして、APUの学生さん3名と交流を行いました。学生さんから出されたクイズに答えたり、逆にいろいろと質問をしたりしました。クイズも楽しく行えましたし、いろいろと質問をすることができました。「今まで生きてきて、一番うれしかったことは。」という質問には、学生さんも四苦八苦していました。最後には、代表の子どもがお礼を言って、和やかに終了しました。



その次は、昼食です。昼食はみんな同じカツカレーです。量が結構多く、食べきれるかなと心配している子もいましたが、頑張って食べました。食堂からは別府湾が一望でき、とてもいい雰囲気の学食でした。



昼食後は、いよいよグループワークで、学生さんたちに話しかけていきます。最初の一声をかけるまでがドキドキです。中には、「断られたー。」としょんぼりする子もいましたが、そのうちにどんどん慣れてきて、30分後には、あちこちで会話が花が咲いていました。APUの学生さんたちも非常に慣れていて、優しく対応してくださいました。



私たちの子どもの頃(50年前)には、とても考えられなかった活動です。今では、日本国中あらゆるところで、このような取組が行われています。子どもたちが大人になる時は、もっともっと、国際化が進んでいるのでしょうね。

いろんなことを考えさせられた、APU訪問でした。6年生お疲れさまでした。



学校だより

くすのき

【学校教育目標】

主体的に学び、人とのかかわりを
大切にする子どもの育成



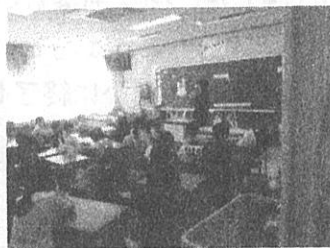
令和6年度由布市立狭間小学校 第33号

令和6年12月24日(火) 文責 森次 晃

早いもので、2学期終了です。

12月24日(火)、2学期の終了式を行いました。

子どもたち3名の代表が、2学期の振り返りを行いました。どの子も、自分の立てた目当てに沿って素晴らしい発表をしてくれました。うまくいかなかったこともきちんと振り返り、次の目当て決めに生かしていたところも良かったです。写真は2学期の保護者会の様子です。



また、児童会の代表の子どもが、あいさつ運動の話をしてくれました。今、休み時間の時に、廊下を静かに歩きましょうという呼びかけと、月・水・金の朝、校門であいさつ運動をしています。最近は寒い日が多いのですが、それに負けず頑張る姿をみて感動します。全体に挨拶の輪が広がるといいなと思います。



親児の会のみなさん、ありがとうございます。門松づくり

12月21日、22日、2日間かけて、校門の両脇に立派な門松が立てられました。

親児の会の皆さんが中心に作成してくださいました。2日間とも、寒い日でしたが、子どもたちのために一生懸命に取り組んでくださり、素晴らしい出来栄となりました。親児の会以外にも狭間のジュニアリーダーの子たちや何名かのPTA会員の方も参加してくださいました。ありがとうございました。

